

千葉大学×千葉県 データ利活用アイデアソン 実施報告

令和5年9月5日・14日の2日間にわたり、千葉大学の学生が県のオープンデータを利活用しながら、観光や健康づくり、環境、農業に係る課題の分析と解決策の検討を行うアイデアソンを県として初めて、千葉大学との共催で開催しました。

初日はデータ収集や県職員へのインタビューなど地域課題の掘り下げを行い、2日目でアイデアの整理・検討とプレゼンテーションを行いました。

参加した学生からは「千葉県のことをより深く知れた」「データを扱ってアウトプットを出す機会はあまりないのでとても楽しかった」、といった意見が聞かれるなど、県内のオープンデータ活用の推進に向け、有意義な機会となりました。



開催日時 令和5年9月5日（火）、14日（木） 両日とも13時～17時

会場 千葉大学アカデミック・リンク・センター

参加者 千葉大学所属の情報学に興味のある学生 11名（3名×4グループ）

ファシリテーター 千葉県デジタル戦略課 オープンデータ利活用推進員 森 泰雄

タイムテーブル

1日目【9/5（火）】			2日目【9/14（木）】		
1.	千葉県のデジタル改革について	13:00 ～13:20	1.	データとアイデア整理 (グループ活動)	13:00 ～14:00
2.	ワークショップの流れ説明	13:20 ～13:45	2.	アイデアシート作成 (グループ活動)	14:00 ～15:00
3.	休憩	13:45 ～13:55	3.	休憩	15:00 ～15:10
4.	データ収集の進め方【説明】	13:55 ～14:20	4.	プレゼンテーションスペースに移動・準備	15:10 ～15:15
5.	データ整理・収束の実施方法【説明】	14:20～ 14:35	5.	発表(発表10分・質問5分)×4チーム	15:15 ～16:15
6.	アイデアシートの記入方法【説明】	14:35～ 14:50	6.	セミナールームに移動	16:15 ～16:20
7.	休憩・準備 /グループ分け発表	14:50～ 15:00	7.	休憩	16:20 ～16:25
8.	職員インタビュー	15:00 ～16:00	8.	表彰	16:25 ～16:35
9.	インタビュー内容とデータの整理/テーマ決定 (グループ活動)	16:00 ～17:00	9.	全体講評(千葉大学/千葉県)	16:35 ～16:45

[1日目]

(県のデジタル改革)

千葉県デジタル戦略課から、今年3月に策定した千葉県DX推進戦略の概要やデータ利用の推進に向けた取り組み状況などを説明しました。



(概要説明)

ファシリテーターから、ワークショップの流れや県・国のオープンデータサイトからのデータ収集、KJ法によるデータの整理、SWOT分析での課題・機会の導き出し、シートを活用したアイデア検討などの進め方について説明した後、グループ分けを行いました。

データ整理シート		アイデアシートを作成しよう	
良い点 (オープンデータから確認できたこと) (インタビュー等から見えたこと)	現在の状況把握 (国・県・市町村での取り組みを比べてみる? コースが違っているか? 機軸、自然災害、等)	チーム名:	
課題点 (オープンデータから確認できたこと) (インタビュー等から見えたこと)	手段の検討 (国・県をターゲットに施策を打つ? 誰と一緒に取り組むか?)	アイデア名:	
現状把握から、「課題点」を把握するとともに、「強み・機会」から成長pointを導き出す。		①ターゲット:	②最も改善・解決したい点:
		③ As-Is (現状の姿)	④ ToBe (あるべき姿)
		利用したデータ:	
		足りないデータ:	

(課題・データの収集)

グループごとに以下の検討テーマについて、業務を担当している県職員へのインタビューを通じた課題の聞き取りや県オープンデータサイト等からのデータ収集を行いました。



その後、アイデアを検討するテーマをグループごとに決めました。

- ①農業【担い手支援課】
- ②健康（ヘルスケア）【健康づくり支援課】
- ③観光【観光企画課】
- ④環境【環境政策課】



(検討テーマの掘り下げ)

インタビューで聞き取った課題やデータをもとに、サービス利用者の「困りごと」「嬉しいこと」などの感情面にも注目してグルーピングするKJ法で、データの整理を行いました。

[2日目]

(アイデア整理・検討)

グループごとに1日目に整理した課題やデータを活用しながら、SWOT分析で良い点や課題、解決策等を整理し、アイデアシートを作成。



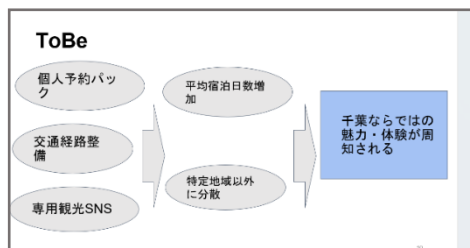
(プレゼンテーション)

プレゼンテーションスペースにて、各グループがアイデアシートをもとに、検討したアイデアを発表しました。

[グループ1 (観光)]

実現賞

千葉県デジタル戦略課長賞



外国人旅行者が困ったことや市町村別滞在ヒートマップなどを活用し、千葉ならではの魅力が周知されていない、外国人旅行者が県内の特定の地域に集中しているなどの課題に着目。

解決策として、旅行サイトや鉄道会社と提携し、訪日外国人にお得な宿泊体験を「個人予約パック」で提供し、海外 Youtuber に体験動画をアップしてもらおう。さらに、「観光マップ型 SNS」を開発し、外国人によって発掘された魅力を発信してもらおうことで、その魅力を日本人にも広める、というアイデアを提案しました。

【県担当課 (観光企画課) コメント】

課題の認識などしっかりできていた。今回は時間が無かったので難しかったとは思いますが、訪日外国人を分析するのであれば、国が違えば好みも変わってくるので、国籍別でできるとさらに深掘できると思う。

[グループ2 (テーマ: 健康)]

トライ賞

千葉県の死因データ、世代別運動状況のアンケートデータなどを活用し、現役世代の運動習慣の定着が少ない、長期的視点でのフレイル予防が重要、などの課題に着目。



解決策として、現役世代の運動不足、心の健康と自殺率の問題、長期的なフレイル予防に寄与する「千葉県の地域資源を活用したワークアウトティケーション※」の実施を提案しました。

※Work out(仕事・運動)と Vacation(余暇)を掛け合わせた造語

【県担当課 (健康づくり支援課) コメント】

うまくデータを使えていてよかった。実際に行動から継続に結びつけるかまで考えられるとさらによい。

[グループ3 (テーマ: 環境)]

テーマ賞

対策案 投棄物撤去への協力

アクセスの良さを活かす

観光客にも協力してもらえるイベントの立案

人気コンテンツとコラボ

集まった人に協力してゴミを撤去してもらい、コラボグッズを報酬に

一般の人にも操作できるゴミ掃除ロボの設置

ランキングが高いと報酬がもらえる制度。

不法投棄の量や投棄された場所の調査データなどを活用し、交通アクセスの良さにより千葉市等で不法投棄が多い、道路・河川・山林などでよく投棄されている、などの課題に着目。

解決策として、投棄物の撤去の協力者を募る

仕組みづくりとして、観光客を巻き込んだゴミ撤去イベントの開催やゴミ掃除ロボの設置、ランキングに応じた報酬制度の導入を提案しました。

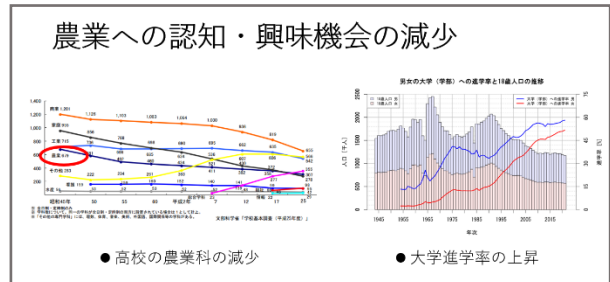
【県担当課 (環境政策課コメント)】

「環境」という非常に幅広いテーマのなかで、特に千葉県で深刻となっている不法投棄の問題に着目して掘り下げた点に感心した。

[グループ4 (テーマ: 農業)]

データ活用賞

食と農林水産に関する世論調査、新規就農者調査などを活用し、収入の不安定さや肉体労働の過酷さのイメージ、農業への認知と興味の機会の減少などの課題に着目。



解決策として、大手飲食グループ等との提携による基本給の底上げ・労働環境の整備、高校生をターゲットにした金銭面や労働面での魅力のPRを提案しました。

【県担当課 (担い手支援課) コメント】

様々なデータを幅広く活用できていた。また、新規雇用就農を増やすという目標を設定した上で、そのターゲットを高校生とした点が面白い。

(表彰)

アイデアの特性に応じて表彰しました。

- ①テーマ賞 最もテーマにフィット
- ②実現賞 最も実現性があった
- ③トライ賞 最も独創性があった
- ④データ活用賞 最もデータをうまく活用
- ⑤デジタル戦略課長賞 総合的に優れていた



千葉県総務部デジタル改革推進局デジタル戦略課データ利活用班

メール opendata@mz.pref.chiba.lg.jp TEL 043-223-2189

千葉県オープンデータサイト <https://www.pref.chiba.lg.jp/gyokaku/opendata/index.html>